

☆☆☆ 早くも今シーズン2例目！！ ☆☆☆  
国内死亡野鳥からA型鳥インフルエンザウイルスを検出  
(宮城県栗原市)

令和4年10月4日、宮城県栗原市でマガン1羽の死亡個体が回収され、同日に簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されました。

高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を国の機関で実施予定です。



<参考>

令和4年度高病原性鳥インフルエンザの発生確認1例目

9月25日に神奈川県伊勢原市の野鳥(ハヤブサ)から検出

令和3年度高病原性鳥インフルエンザウイルス確認1例目

○野鳥糞便から検出 : 11月9日 (宮城県宮崎市)

○家きんでの発生 : 11月10日 (秋田県横手市)

➡ 今シーズンは、早急な警戒が必須です！！

※ なお、現時点では簡易検査で陽性確認の段階であり、病性は未確定。高病原性又は低病原性鳥インフルエンザウイルスの確認や判定不能となることも有ります。

<特に以下の予防対策の点検・早急に再確認をお願いします>

- ・飼養する家きんの異状の有無の確認
- ・異常家きん発生時の早期通報の徹底
- ・防鳥ネット・壁・金網等の破損箇所の再確認と修繕
- ・長靴や車両の消毒等を行い、ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場及び家きん舎内への侵入防止対策を徹底
- ・農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

農場の近隣に池や沼等がある場合は、さらに注意してください！！

☆ 死亡の増加はなくとも、産卵率低下、食欲不振、元気消失等の普段とは異なる症状を認める場合は、家畜保健衛生所へご連絡ください。